



Banco MUFG Brasil S.A.
Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

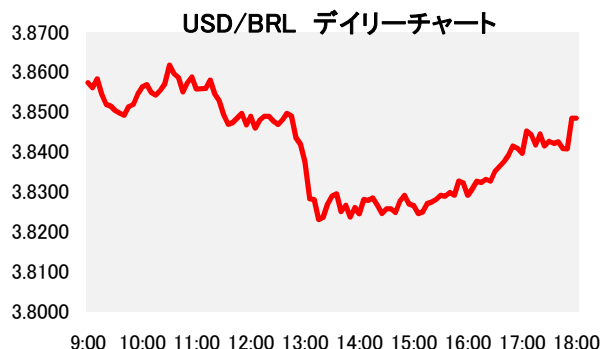
1. マーケット・レート

			7月12日	7月13日	7月16日	7月17日	7月18日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.8820	3.8500	3.8610	3.8390	3.8480	+0.0090
	BRL/JPY	Spot	28.980	29.180	29.09	29.40	29.33	-0.07
	EUR/USD	Spot	1.1671	1.1686	1.1714	1.1661	1.1641	-0.0020
	USD/JPY	Spot	112.51	112.36	112.28	112.86	112.89	+0.03
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.920	6.742	6.834	6.780	6.817	+0.037
	Future	1Year(p.a.)	7.721	7.660	7.616	7.530	7.601	+0.071
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.609	3.524	3.481	3.472	3.463	-0.009
	USD	1Year(p.a.)	4.224	4.173	4.088	4.074	4.036	-0.039
株式	Bovespa指数		75,856.25	76,594.38	76,652.56	78,130.31	77,362.63	-767.68
CDS	CDS Brazil 5y		249.19	243.78	244.92	244.64	242.14	-2.50
商品	CRB指数		194.003	193.728	191.173	191.094	191.47	+0.38

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

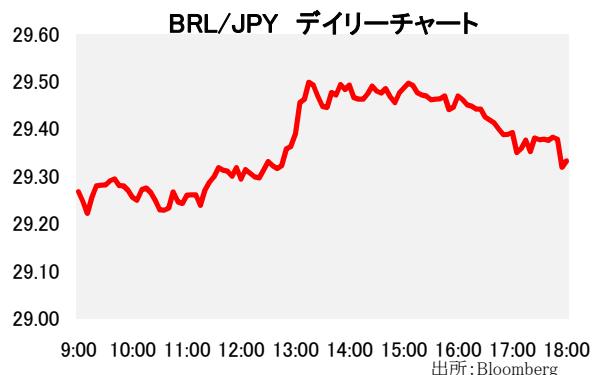
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	0.31%	0.37%	0.63%
IGP-M Inflation 2nd Preview	0.40%	0.53%	1.75%
(米)MBA住宅ローン申請指数	--	-2.5%	2.5%
(米)住宅着工件数	1320k	1173k	1350k
(米)住宅着工件数(前月比)	-2.2%	-12.3%	5.0%
(米)建設許可件数	1330k	1273k	1301k
(米)住宅建設許可(前月比)	2.2%	-2.2%	-4.6%



3. 要人コメント

クドロー 米国家経済会議 (NEC) 委員長	(米中の通商協議について) 中国の習金平国家主席は現時点において取引の成立を望んでいない。
------------------------------	---



4. トピックス

- 本日のレアルは3.8380で寄り付いた。昨日買われた反動からレアルは売りが先行し、午前中に日中安値3.8630まで下落した。午後に入るとトランプ米大統領がメキシコ・カナダと個別に貿易協定を結ぶと発言したことからメキシコペソが急伸。これを受けてドルが軟化する中、レアルは日中高値3.8210まで上昇した。パウエル米FRB議長による議会証言では特段新たな材料は出ず、手掛かりを欠く中でレアルは取引終盤に上げ幅を縮小。結局3.8480でクローズした。
- パウエルFRB議長は下院金融委員会で証言を行った。物価の伸び悩みについて懸念は根強く残っているものの、インフレ見通しのリスクは均衡しているとして漸進的な利上げの継続を改めて表明。昨日の発言と比較して特段新たな材料は見られず、市場の反応は限られた。
- ボベスパ指数は5営業日振りに反落。米国の株式相場は好調な企業決算を受けて上昇したが、国内市場は利益確定の売りが見られたことで終日軟調な動きとなった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧奨又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。